

【学校教育目標】豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成

第五小だより

令和4年 1月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

生き生き学び、楽しいのびのび活動する、元気な学校

048-462-0455



どのように育てるのか

校長 三好正浩

穏やかな初春の光に包まれて令和4年が明けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

冬休みも終わり、朝霞第五小学校に子供達の明るい声が戻ってきました。どの子の表情にも心が満たされた豊かなものを感じ取ることができました。おそらくこの冬休みに楽しいことがたくさんあったのでしょう。こうして、子供達が元気に登校し、3学期をスタートできたことを心から感謝しております。

さて、中国のことわざに、こんな話があります。「ある男に魚を与えれば、その男はその魚を1回だけ食べることができる。だが、もし彼に魚の捕り方を教えれば、彼は残りの一生の間、好きなだけ魚を食べることができるだろう。」子供のために、今、おいしい魚を与えることも大切なことです。子供も喜んでその魚を食べることでしょう。しかし、私達大人は、子供に一生魚を与え続けることができるのでしょうか。そう考えると、一度食べてしまったら終わりになる魚を与えることも大切ですが、好きなときに好きなだけ魚を捕ることができる方法や技術を身につけさせる方向へと導くことも大切になってくると思います。大きな視野にたって子供達の人生を考えたとき、その場限りで終わってしまうことだけでなく、子供達が自ら学び考え実践できるように導くことが、子供達の将来をさらに豊かなものにすると考えます。3学期の3ヶ月は、「いってしまう1月」「にげてしまう2月」「さってしまう3月」といわれます。短い期間ですが、教職員一丸となって、力を合わせ、さらなる子供達のより良い成長と年度の締めくくりを行うため、教育活動の充実に努めてまいります。どうぞ保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。